

3歳から幼稚園生を対象に

CAP就学前ワークショップを開催するにあたって

CAPのワークショップに関心を持っていただきありがとうございます。就学前ワークショップを開催するにあたっては、以下の条件を満たしている必要があります。ご検討の上、お申し込み下さい。

おとなワークショップを終えていること。

こどもにワークショップを提供する場合には、事前に必ずワークショップを受けるこどもたちの保護者、先生方が“おとなワークショップ”を受けていなければなりません。“おとなワークショップ”には人数制限はありません。

大人ワークショップは子どもワークショップ実施と同じ年度内に実施しなくてはなりません。

新しい年度に子どもワークショップを実施する場合は、大人ワークショップから実施する必要があります。

3日間に分けてワークショップを行うこと

就学前プログラムは、3日間に分けて行います。CAPのワークショップは人権教育であり、就学前のこどもたちに1日で行うには情報量が多すぎます。また、幼いこどもたちの集中できる時間を考えると1日20分のワークショップが適当だといえます。トークタイムをあわせると1日約40分です。

小人数でワークショップを行うこと。

“CAP就学前ワークショップ”は、本来15人を想定して作られています。私たちはこどもたちの自由に発言する場、安心して発言する場を保証するために、1ワークショップ20人以内で引き受けています。こどもたちはワークショップに“参加”することで、多くのことを学びます。また、クラス替があってもワークショップの効果が残るように、学年に複数クラスがある場合は全てのクラスがワークショップを実施することも必要です。

保護者は、こどもワークショップには参加できないこと。

と同じ理由から、こどもワークショップに保護者が参加することはできません。ただし担任の先生にはその場所にいてもらい、お手伝いをお願いしています。

担任の先生の協力が必要なこと。

ワークショップには担任の先生の理解と協力が必要です。ワークショップのなかでの先生役を演じてもらいます。また、事前にクラスの様子を教えてください必要があります。

事前に名簿を見せてもらうこと。

前もってワークショップを行うクラスの名簿を見せてもらいます。なぜなら、ロールプレイの中で、同じ名前を使わないように配慮しなければならないからです。いじめられる役や誘拐される役と同じ名前の子がクラスにいと、後で問題が生じる可能性もありますし、こどもたちが集中できなくなる恐れがあります。

トークタイムをとれること。

ワークショップが終わったあと、こどもたちがCAPのメンバーと1人ずつお話をする時間と場所をとってもらいます。1人2～3分ずつのトークタイムです。そこでは簡単にワークショップの復習をします。

こどもワークショップの料金は2万円です。

ワークショップの依頼を受けてもすぐには対応できない場合もありますので、できるだけ早めに連絡して下さい。ワークショップの申し込みはファックスで受け付けています。

(電話&ファックス 098-862-1686)

留守番電話とファックスのみの対応です。メッセージかFAXを入れておくと、後日CAPの担当者から連絡します。